

2025年12月期 第3四半期 決算補足説明資料(連結)

2025年11月13日
シンクレイヤ株式会社
証券コード:1724

2025年12月期 第3四半期業績サマリ(経営成績)

前年同期比で売上高は減少、営業利益は減益、経常利益・純利益で増益

売上高	： 7,332百万円	前年同期比 (▲9.7%)
営業利益	： 201百万円	(▲36.3%)
経常利益	： 218百万円	(33.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	： 138百万円	(22.9%)

TI部門

減収増益

機器I部門

増収減益

トータル

減収減益

- ・TI部門で増益となった一方、機器I部門では原材料費の高騰と競争環境の影響により十分な価格転嫁が進まず減益となり、全体の営業利益は減少
- ・前年同期に計上していた為替差損が当期は発生しなかったことから、経常利益は増加

2025年12月期 第3四半期業績サマリ(財政状況)

自己資本比率は60%を超え、強固な財務基盤を維持

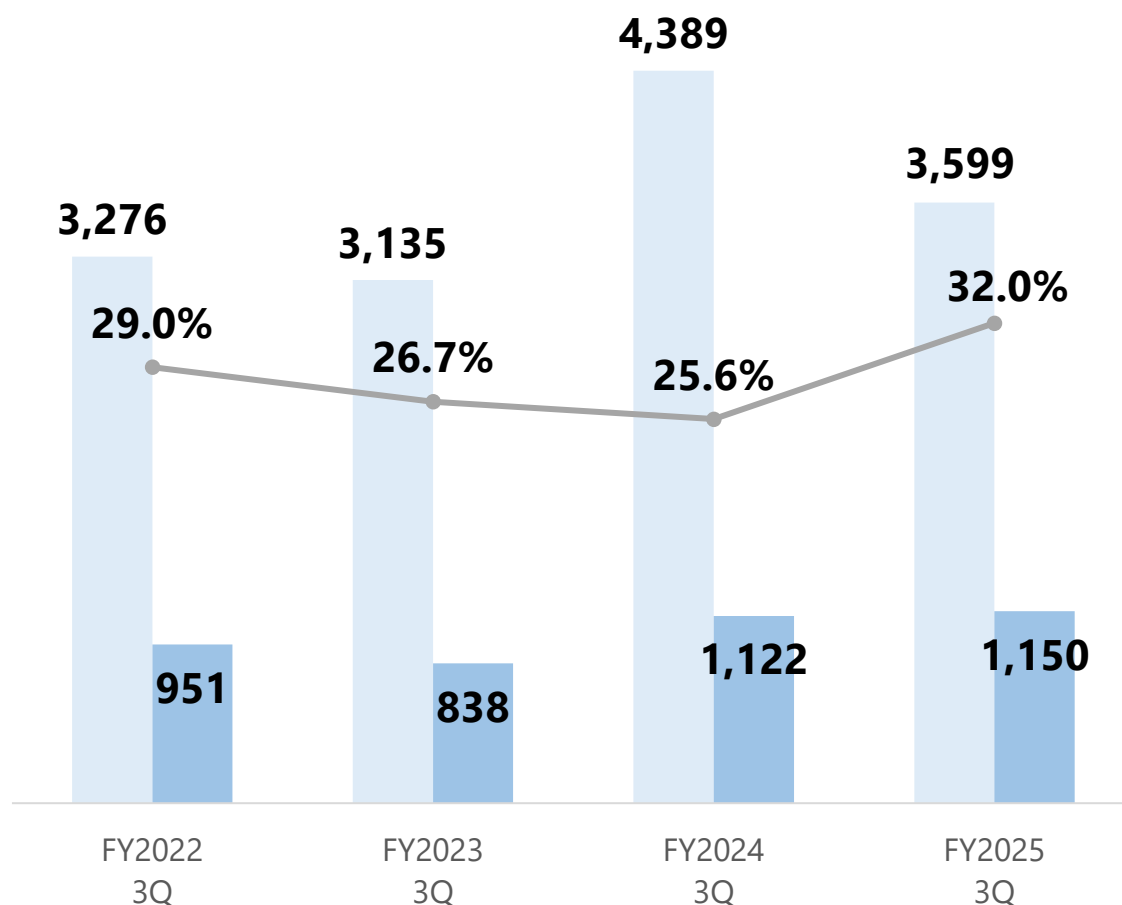
(単位:百万円)

	FY2024 期末	FY2025 3Q	増減	主な要因
流動資産	7,544	6,212	▲ 1,331	受取手形及び売掛金・ 完成工事未収入金の減少
固定資産	3,808	3,788	▲ 19	
資産合計	11,352	10,000	▲ 1,351	
流動負債	4,433	3,023	▲ 1,410	支払手形及び買掛金・工事未払金・ 短期借入金の減少
固定負債	772	833	60	長期借入金の増加・長期未払金の減少
負債合計	5,206	3,856	▲ 1,349	
純資産合計	6,146	6,144	▲ 2	
自己資本比率	54.1%	61.4%	7.3pt	

前期末に工事が進捗した反動で売上は減少したものの、収益性の高い案件が寄与し増益

(単位:百万円)

売上高 売上総利益 総利益率



売上

昨年から継続している複数の大型工事案件が順調に進捗・完工しました。一方で、これらの工事は前連結会計年度末までの進捗が大きく、当期への貢献は限定的となり、売上高は3,599百万円(前年同期比18.0%減)

利益(売上総利益)

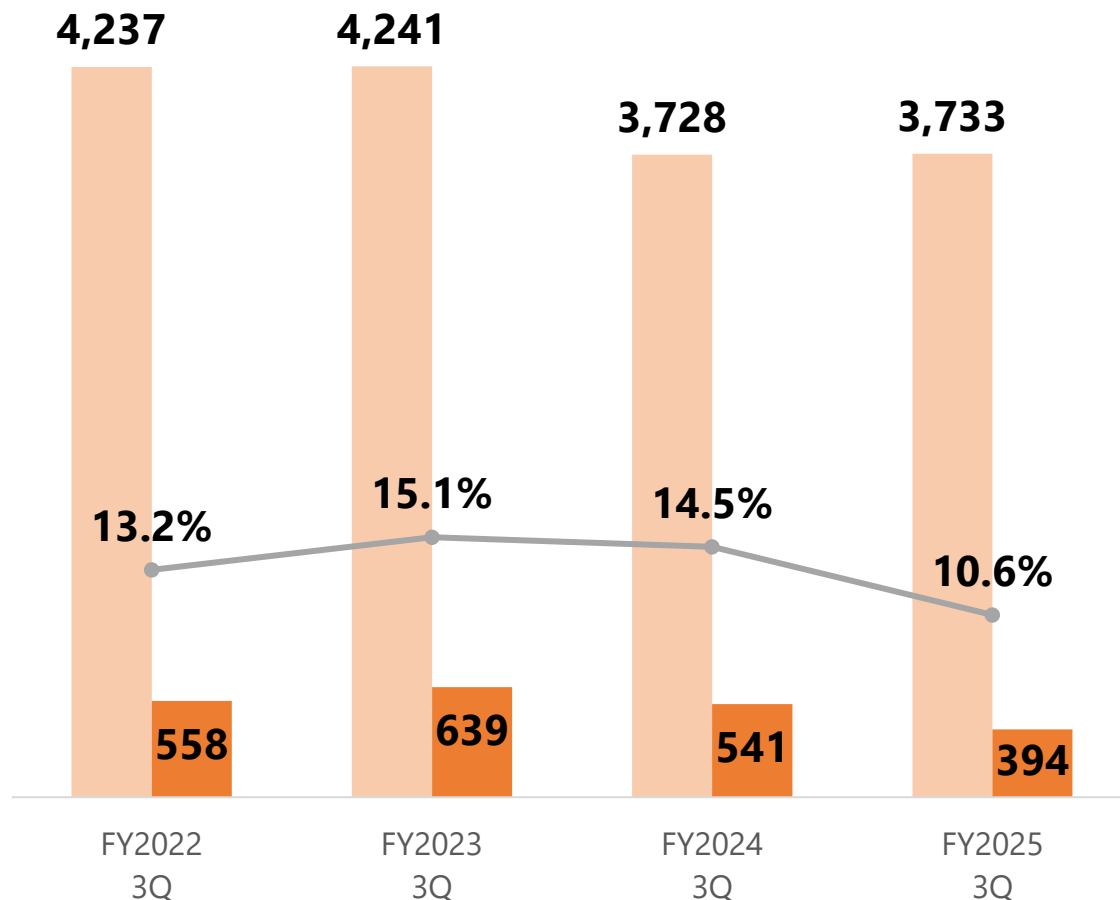
大型の光化工事に加え、センター局及び基幹ネットワークの強靱化システムの導入など、収益性の高い案件が寄与し増益

事業部門別概況(機器インテグレーション部門)

通信・放送用光端末の売上は前年同期比で横ばい、売上総利益は減益

(単位:百万円)

売上高 売上総利益 総利益率



売上

通信用光端末及びセンター機器の販売で一部の顧客の在庫調整の動きに影響を受けつつも、ネットワークの高速化に伴う端末及びセンター機器の獲得に努め、売上高は3,733百万円(前年同期比0.1%増)

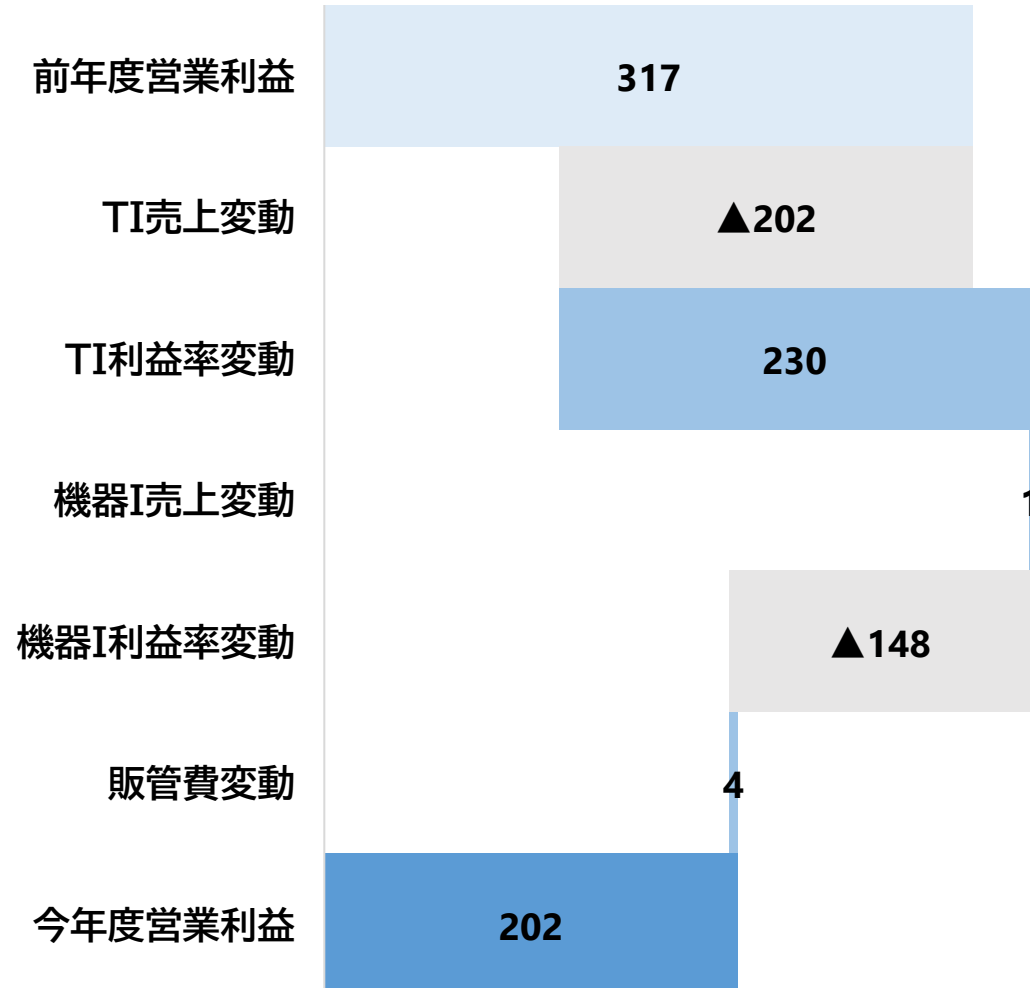
利益(売上総利益)

物価高や円安の影響を受け原材料費が高騰する中、一部の端末で利益率の良化は見られたものの、競争環境の影響から十分な価格転嫁が難しく減益

営業利益増減(前年同期比)

TI部門の利益率は上昇したものの、機器I部門の利益率改善に課題を残す

(単位:百万円)



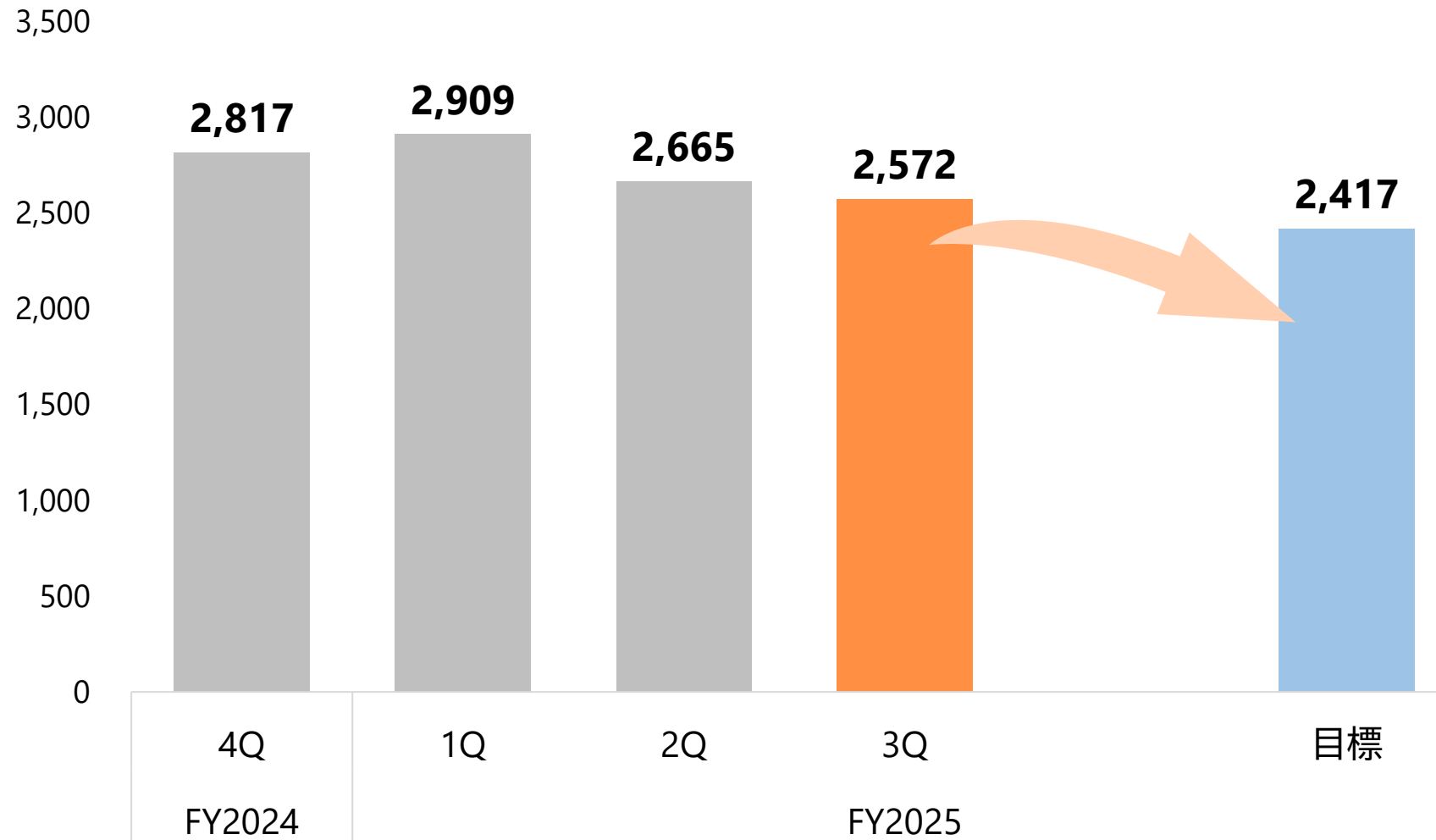
売上及び原価要因(▲119百万円)

- ・売上の減少(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の上昇(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の低下(機器インテグレーション部門)

効率性向上に向けた数値目標の進捗

第2四半期比で棚卸資産は減少、目標に向けて引き続き削減を推進

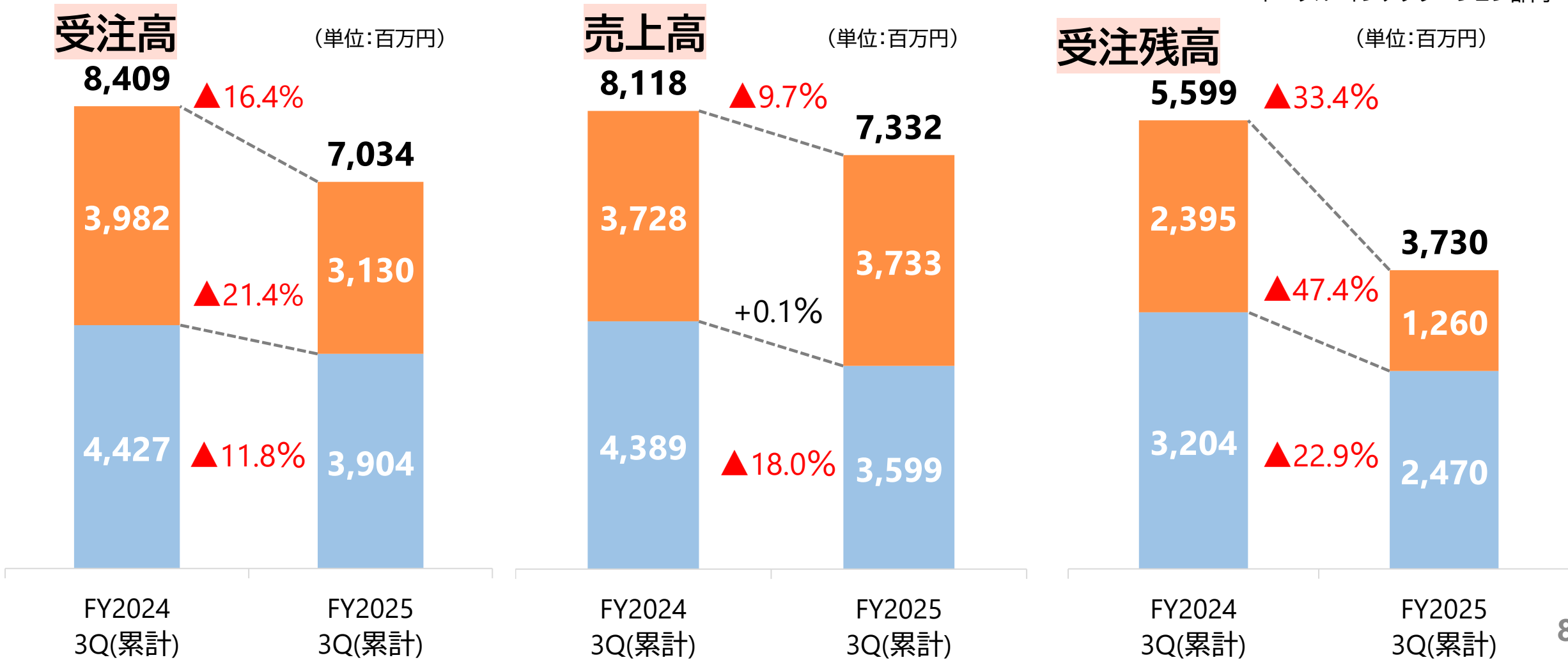
(単位:百万円)



部門別 受注高・売上高・受注残高

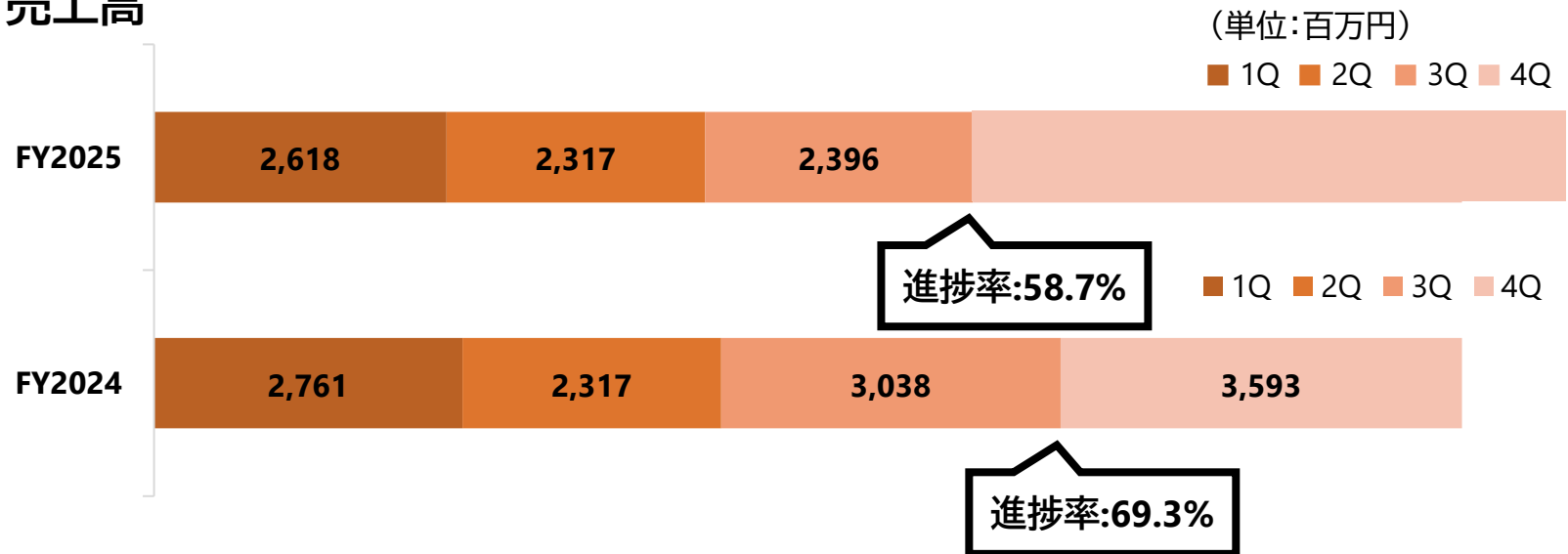
大型案件の完工に伴い受注残高は減少、新規受注拡大に向け積極営業を継続

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門



2025年12月期 第3四半期累計進捗

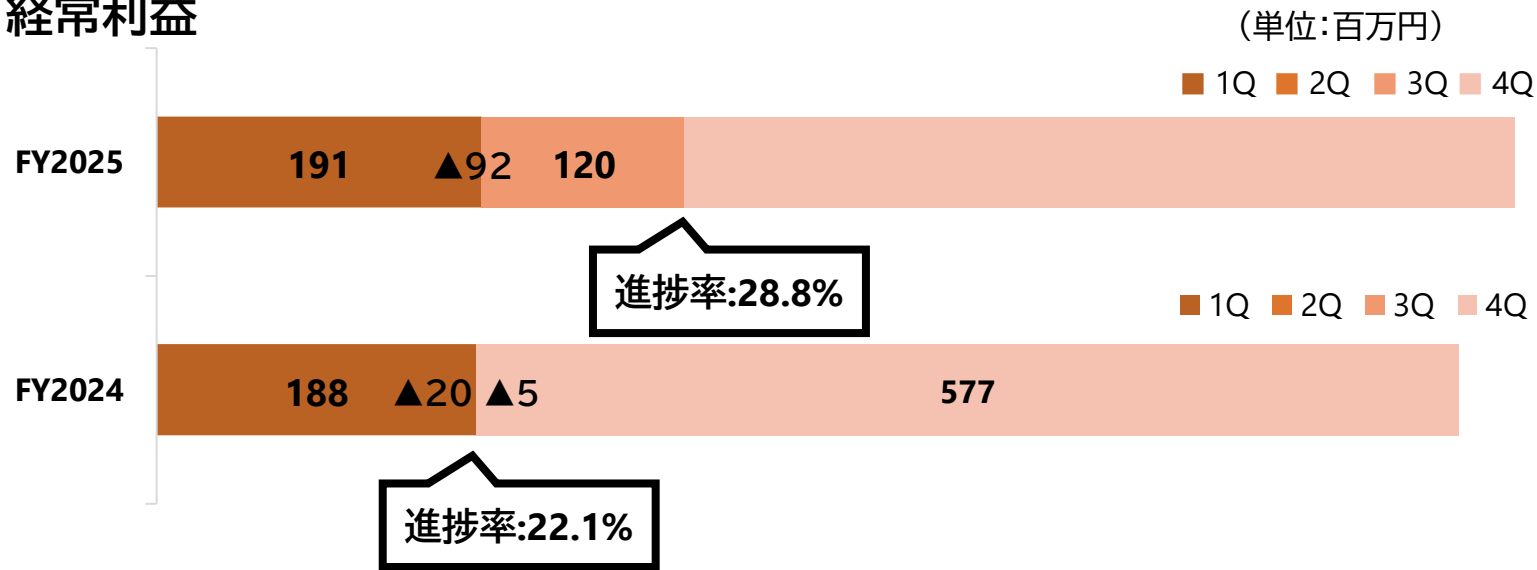
売上高



2025年12月期(予想)
12,500百万円

2024年12月期(実績)
11,711百万円

経常利益



2025年12月期(予想)
760百万円

2024年12月期(実績)
741百万円

当社の最新情報を配信します

当社では、投資家の皆様に当社の最新情報をお届けするため、IRニュースメールの配信をいたします。

下記URLもしくはQRコードにアクセスいただき、必要情報をご入力の上、ご登録下さい。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=1724>

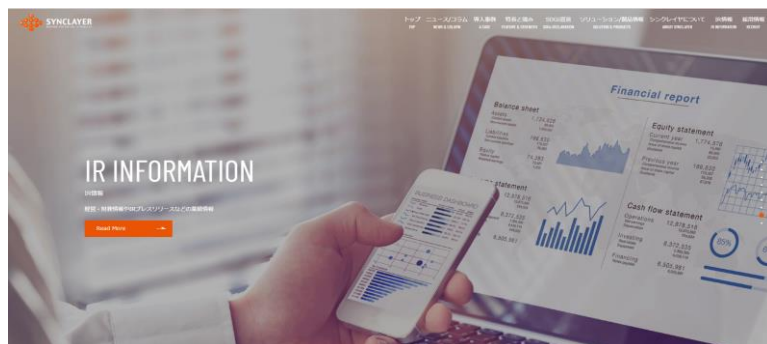


ホームページのご案内

シンクレイヤに関する様々な情報をホームページでご覧になれます。

ホームページでは「会社概要」や「IR情報」など多くの情報を発信しています。

<https://www.synclayer.co.jp>



MAKING POTENTIAL A REALITY

GIGABIT NETWORK SOLUTION

APPENDIX

社名 シンクレイヤ株式会社

代表者 代表取締役社長 山口 正裕

本社所在地 愛知県名古屋市中区千代田二丁目21番18号

設立 1962年5月2日

資本金 8億3,574万5,393円

従業員数 169名(連結:267名)

グループ会社 ケーブルシステム建設株式会社
奥田電気工業株式会社
愛知電子(中山)有限公司

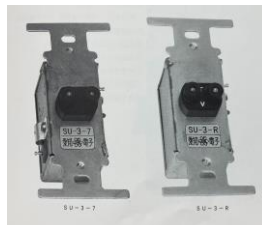
事業内容 ケーブルテレビシステム及び情報通信システム関連の設計、施工、保守及びコンサルタント
ケーブルテレビシステム機器、情報通信システム機器及びそれらの周辺機器の製造、購入及び販売
ケーブルテレビシステム、情報通信システムの導入に関する情報の提供、教育及び指導



シンクレイグループの歩み

1962

愛知電子株式会社を設立
直列ユニットの開発



1973

株式会社愛起(現:ケーブルシステム建設株式会社)を設立



1977

可児工場開設



1981

国内初の商用CCISシステムを納入

1994

海外生産拠点として愛知電子(中山)を設立

1996

国内初の商用ケーブルインターネットシステムを納入

2002

「シンクレイ株式会社」へ商号変更

2003

日本証券業協会JASDAQへ上場(証券コード 1724)

2011

国内初のRfG対応機器及び低受光型V-ONUを発表

2015

10G-EPONシステムを納入



2021

大型工事案件、機器販売の拡大により過去最高益を達成

2022

ローカル5G実証実験への参画

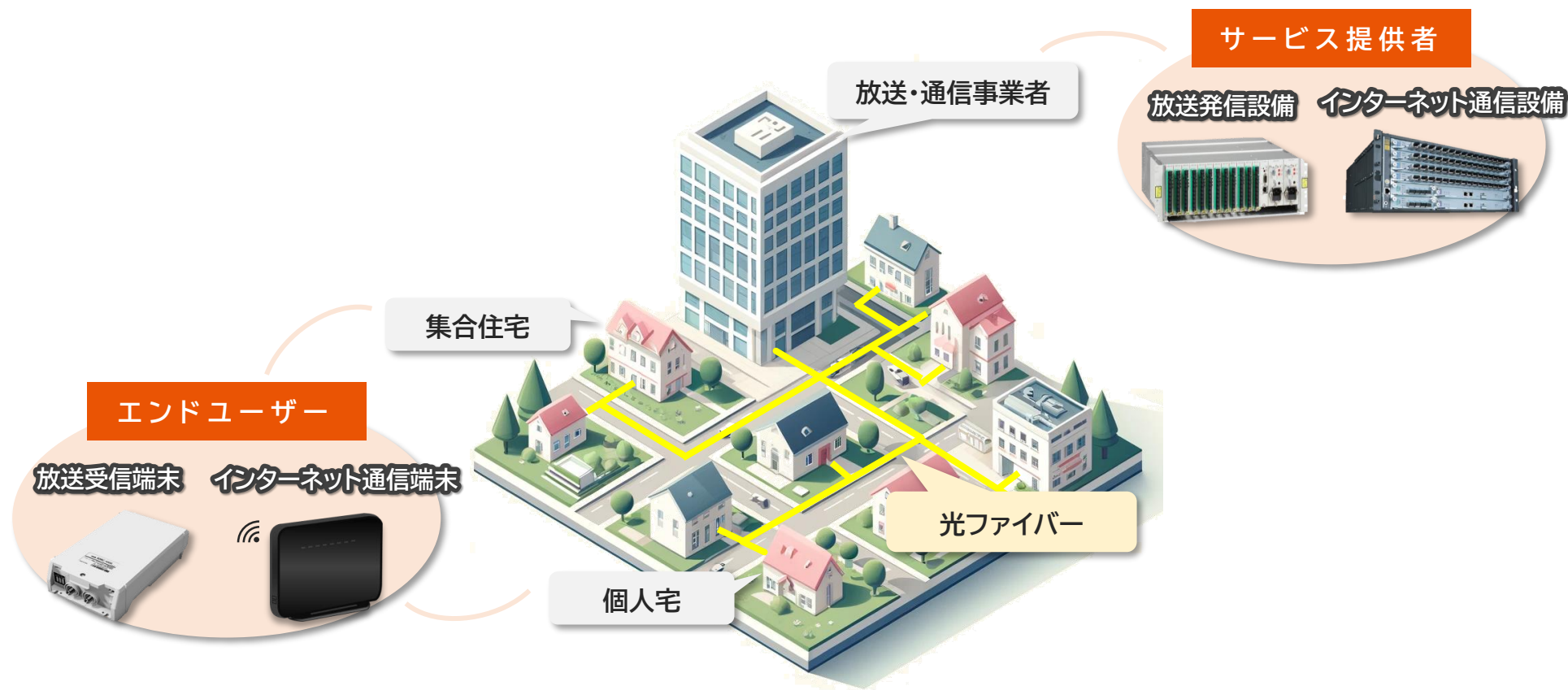


2024

SYNC Labo開設

シンクレイヤが提供する製品・システム(概要)

インターネットやテレビ放送を届けるサービス提供者からその消費者まで、
システムや機器などの技術を提供



工事・機器販売・保守サポートまで対応可能

2つの事業部門により「情報インフラ全体の構築」を行う

1

トータル・インテグレーション部門



放送・通信センター設備の提供及び
光ファイバーネットワークの設計・工事

2

機器インテグレーション部門



エンドユーザー宅に設置する
光端末(放送用・通信用)の提供

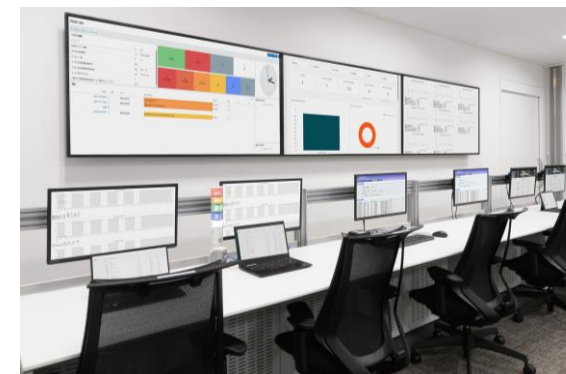
放送・通信事業者のシステム設備を一貫してサポート
設計・施工・保守までを当社で行う「施工管理会社」の役割を持つ



ニーズに沿った
ネットワーク設計



施工



保守・メンテナンス

時代に合った最先端の放送・通信機器の開発・製造を行い、
放送・通信事業者のニーズに沿って販売する「メーカー」の役割を持つ

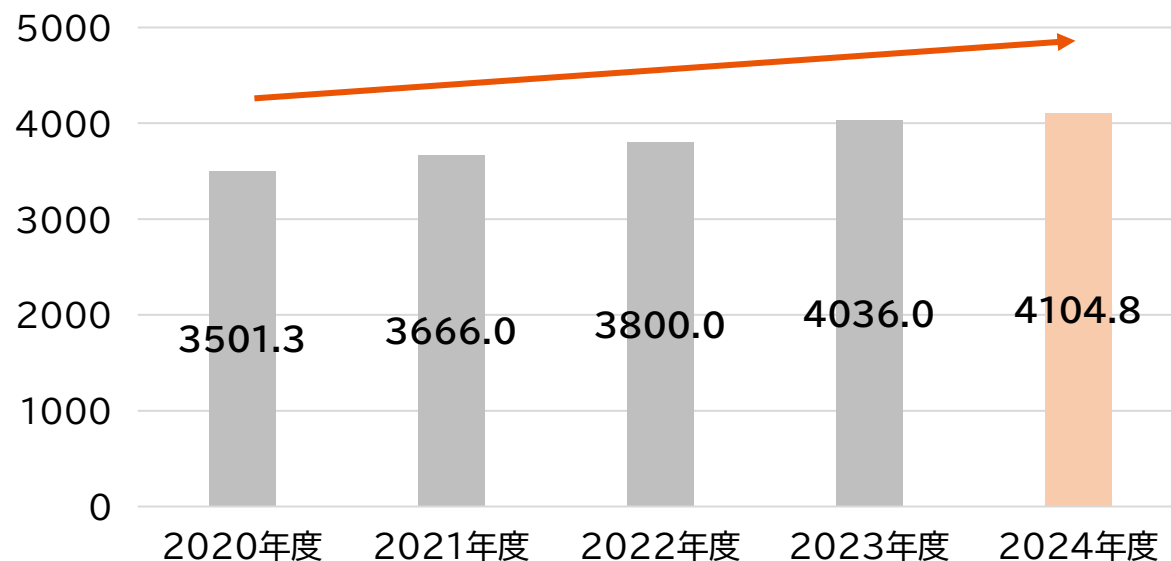


光回線サービスの契約数は4,104.8万件(年間で68.8万件増加)

安定した成長基調が続く一方で、

高速・大容量通信への対応や地域に根ざした通信インフラの強化が求められる

光回線サービス契約数は緩やかに成長



参考:MM総研「ブロードバンド回線事業者の加入件数調査」(2025年3月末時点)をもとに当社作成

通信インフラに求められているもの

■高速・大容量通信への対応

10Gbps対応プランの普及やWi-Fi7対応ルーターの提供拡大など、高速かつ高品質な通信ニーズが増加

■地域社会を支える新たな役割

自然災害対策や高齢化社会に対応した見守り強化、地域活性化など、社会課題解決に資する高付加価値サービスへの転換

7月

■ケーブルテレビ業界最大級のBtoB、BtoGイベント

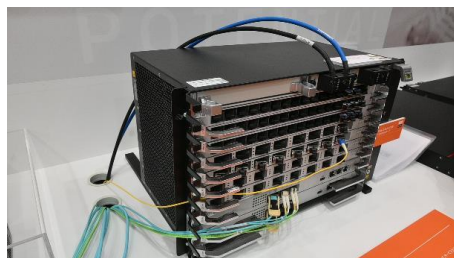
「ケーブルテレビショー2025」に出展

2025年7月24日(木)～25日(金)に東京国際フォーラムにて開催された「ケーブル技術ショー2025」に出展。

『そこまでやるのか！？シンクレイヤー』をブーステーマに掲げ、多彩なソリューションを紹介。

▶国内初となる「3Combo PON」の実働展示

これまで別々に運用していたG-PON、XGS-PON、50G-PONの3つの通信方式を、1枚のボードで同時に使えるようにした「3Combo PONサービスボード」と「3Combo PONトランシーバ」を展示。多くの来場者より高い評価を獲得。



8月

■青森ねぶた祭にARサービスを提供

青森県にて開催される『青森ねぶた祭』へARサービスを2種類提供するとともに、参加者が快適にサービスを利用できるようアクセスポイントを提供し、Wi-Fi環境を構築。

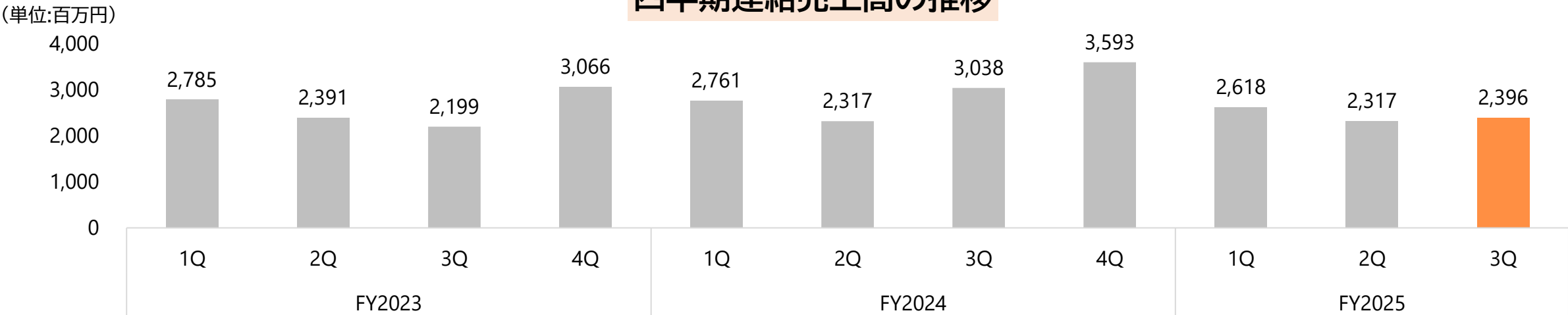
※アクセスポイントとは

スマートフォンやパソコンなどの端末を無線でインターネットに接続するための中継機器。Wi-Fi環境を構築する際に欠かせない存在で、有線ネットワークと無線端末をつなぐ役割を担う。



売上高・営業利益推移

四半期連結売上高の推移



四半期連結営業利益の推移



2025年12月期 第3四半期 業績(指標)

	FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	前年同期比 (増減額／率)
自己資本利益率 (ROE)	1.96%	2.26%	0.3pt
1株当たり四半期純利益 (EPS)	24.25円	29.72円	5.47円

	FY2024 期末累計	FY2025 3Q累計	前年期末比 (増減額／率)
自己資本比率	54.1%	61.4%	7.3pt
1株当たり純資産 (BPS)	1,320.51円	1,315.16円	▲5.35円

2025年12月期 第3四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期差	前年同期比
売上高	8,118	7,332	▲ 785	▲9.7%
売上総利益	1,664	1,545	▲ 119	▲7.2%
販売費及び一般管理費	1,347	1,343	▲ 4	▲0.3%
営業利益	317	201	▲ 115	▲36.3%
経常利益	163	218	54	33.6%
税金等調整前 四半期純利益	163	218	54	33.6%
法人税等合計	50	80	29	57.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	112	138	25	22.9%

2025年12月期 第3四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

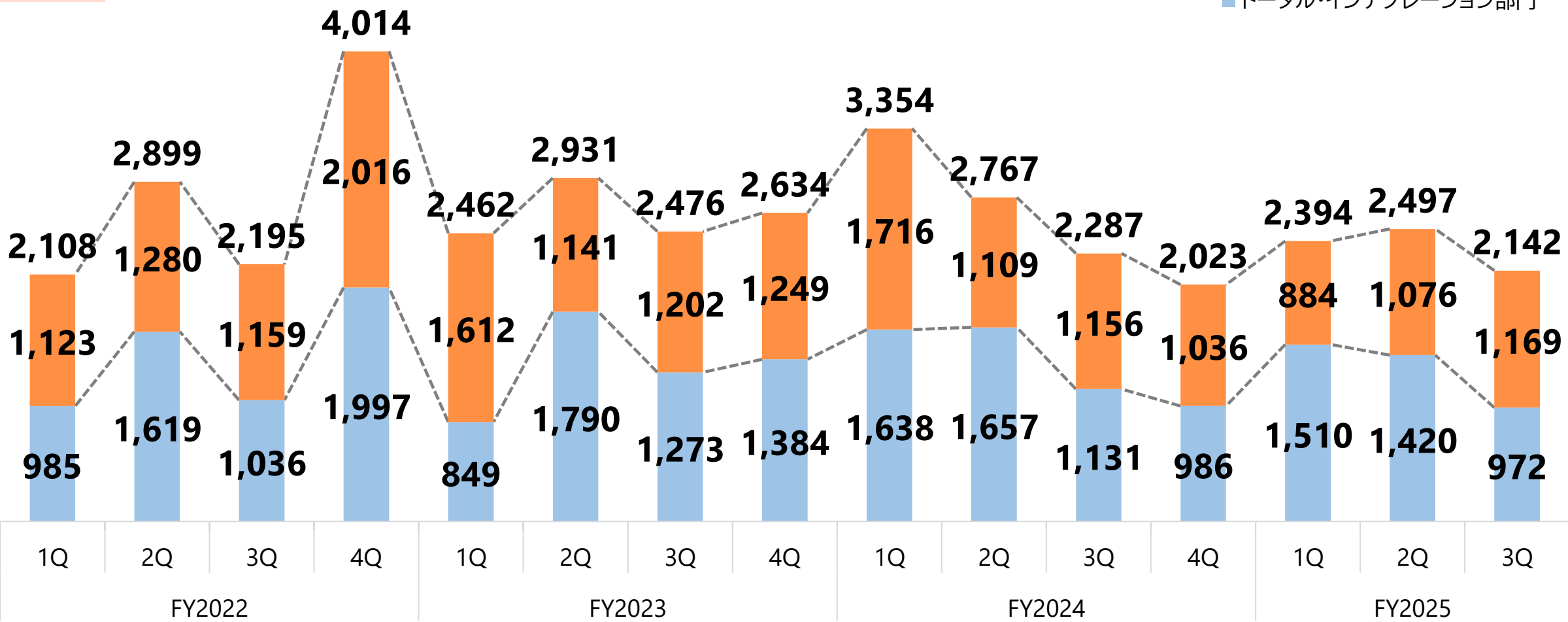
科目	FY2024 期末	FY2025 3Q	前期差
流動資産	7,544	6,212	▲ 1,331
固定資産	3,808	3,788	▲ 19
(うち 有形固定資産)	2,791	2,730	▲ 60
(うち その他固定資産)	1,016	1,057	40
資産合計	11,352	10,000	▲ 1,351
流動負債	4,433	3,023	▲ 1,410
固定負債	772	833	60
負債合計	5,206	3,856	▲ 1,349
純資産合計	6,146	6,144	▲ 2
自己資本比率	54.1%	61.4%	7.3pt

事業部門別 四半期受注高推移

受注高

(単位:百万円)

■ 機器インテグレーション部門
■ トータル・インテグレーション部門

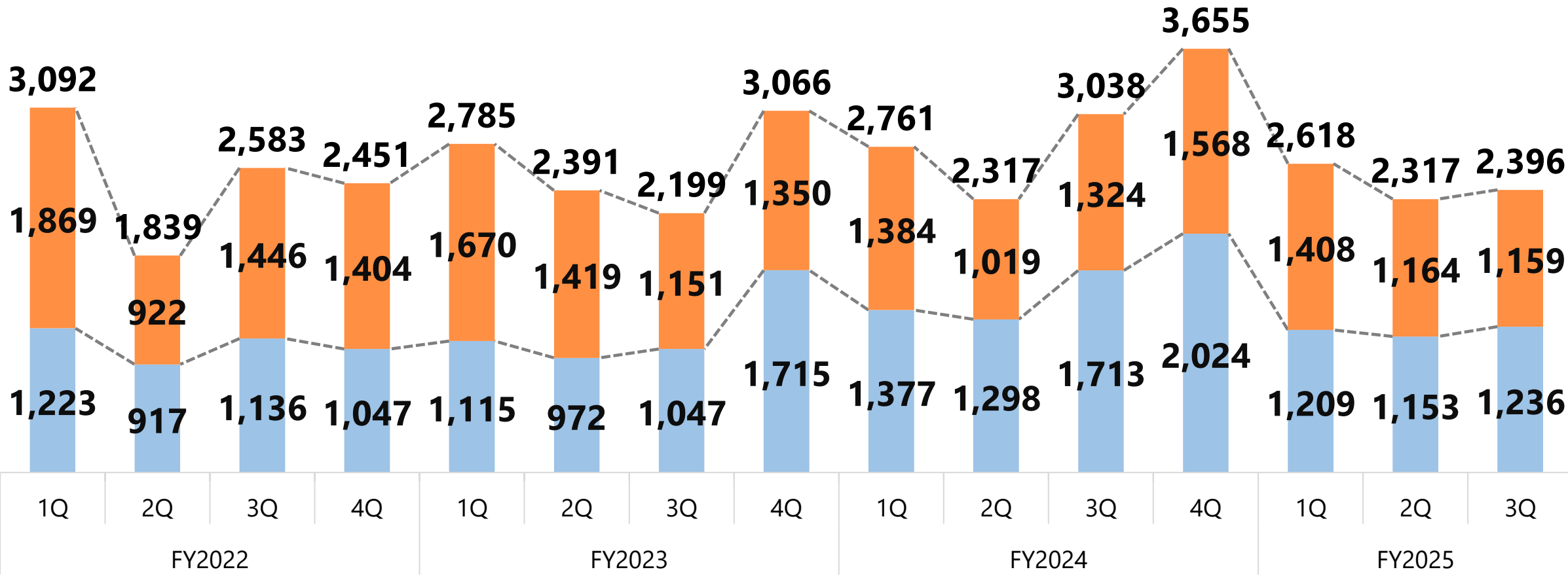


事業部門別 四半期売上高推移

売上高

(単位:百万円)

■ 機器インテグレーション部門
 ■ トータル・インテグレーション部門

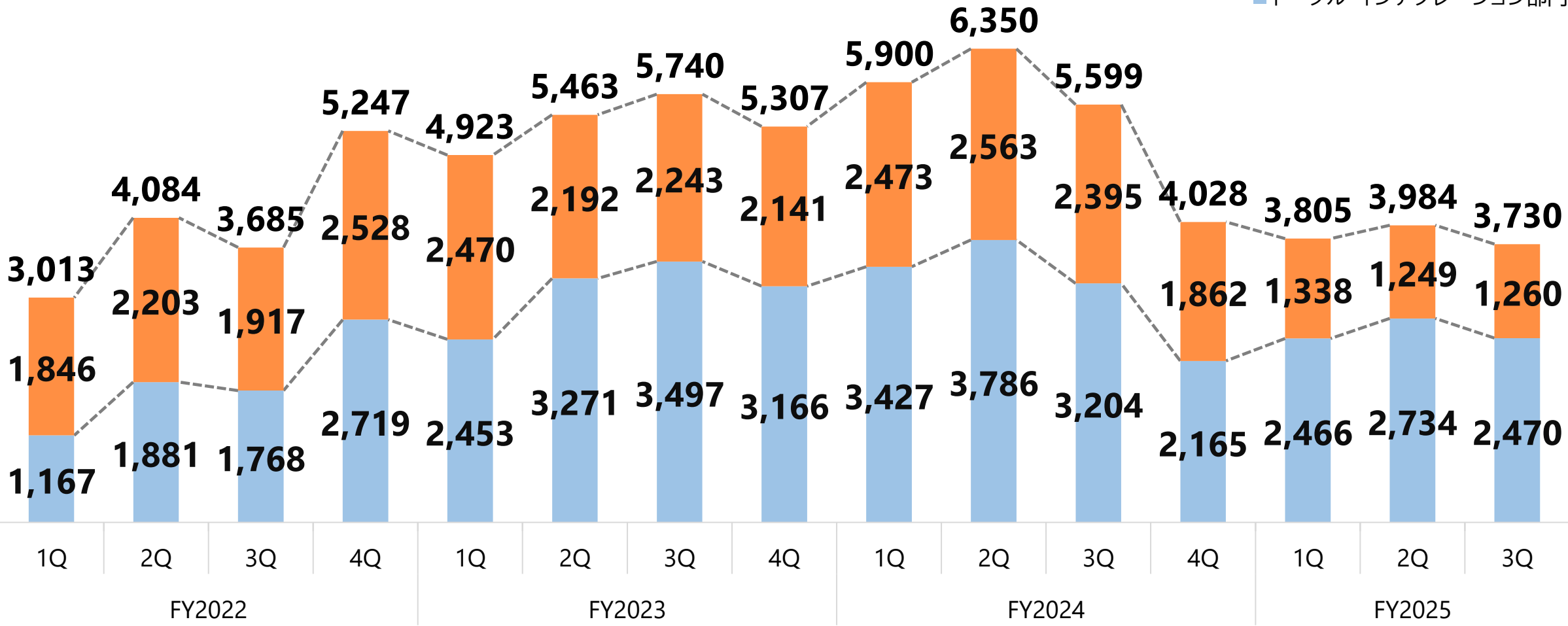


事業部門別 受注残高推移

受注残高

(単位:百万円)

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門



- ✓本資料は、投資の参考に資するため、シンクレイヤ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- ✓本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。
- ✓本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。

■IRに関するお問合せ

MAKING POTENTIAL A REALITY

シンクレイ株式会社

広報室

TEL: 052-242-7875

E-mail: ir@synclayer.co.jp